

やる気と感動

学校だより13号
平成29年
8月25日(金)

＝ 学び 遊び 挑戦し そして感動 35日間の夏休み終了 ＝

～始業式の校長あいさつより～

35日間の夏休みも終わってみるとあっという間でした。全校生徒189名が大きくなげがや事故もなく二期の始業式を迎えられることをとてもうれしく思います。

20日の日曜日には、一年生と一年生の保護者、PTA 環境整備部・本部役員の皆さん、先生方が一緒になり、2時間近く一生懸命作業をし、草取りや窓ガラス磨き、石畳清掃、ウッドデッキ塗装など普段できないところや、危険なところまできれいにさせていただきました。おかげさまで気持ちよく二期を迎えることができました。(体育館床のワックスがけ、体育館横スロープの壁面塗装は業者に依頼し、学校予算できれいにしました。)

夏休み前半は県総合体育大会や、県吹奏楽コンクールが実施され、各会場で熱い闘いや心に響く演奏が繰り広げられました。野球、男女バレーはベスト8まで駒を進めました。男子ソフトテニス(ベスト16)女子バスケも強豪相手に最後まで闘い抜きました。空手の女子団体「形」では3位決定戦で身延中を破り、3位という成績を収めました。個人では、陸上競技で3名が関東大会出場を決め関東の舞台で精一杯闘ってきました。また陸上の1名と空手の女子団体「形」の選手は全国大会にも出場し、競技選手としての経験値を高め、今後の活躍が更に期待されます。吹奏楽部は西関東大会の出場権こそ得られませんでした。6年ぶりに念願の金賞を受賞することができました。

この夏で引退となる三年生は、今までお世話になった指導者、保護者、地域の方々への感謝の気持ちと、後輩に自分たちの思いをしっかりと伝えて繋いでいってください。一・二年生はその思いをしっかり受け止め、新チームづくりを進めてください。

今日から始まった二期は、「チーム南部中」として、またチームの一人として、やるべき努力、できる努力を精一杯やりましょう。「明日からやる。後でやる。」と後回しにしてはいけません。

皆さんに目指してもらいたい、達成してもらいたい姿は、

- ① 課題や提出物を期限内にやりきれる集団・個人
- ② 苦しくても逃げずにがんばれる集団・個人
- ③ 結果の原因を他人に求めず、自らをしっかりと見つめられる集団・個人
- ④ 人を思いやり、いじめ0を達成できる集団・個人
- ⑤ 学習に真剣に向かい合い、学力を伸ばし合える集団・個人

です。この達成の妨げになるのは、自分への甘さや、集団のなれ合いです。自らに対しては厳しく、周囲を思いやれるような、個人や集団になってください。自分さえ良ければと、自分だけの幸せを優先していると、争いが生まれ社会全体が不幸になり、個人の幸せも実現が難しくなります。

生徒会最大行事の輝城祭まであと15日しかありません。全員が燃えるような「やる気」をもって「感動」の輝城祭を作りましょう。長い二期そして新人戦、教達検、音楽発表会など多くの行事がある二期は、成長できる最大のチャンスです。南部中の生徒一人ひとりの力と南部中学校の力を最大値まで高めていきましょう。